市民アンケート調査の結果（概要）

調査概要　（調査名：草津市の住まいと暮らしに関するアンケート調査）

目的　　：①住宅・住環境に関する評価、住まい・暮らしの変化や傾向、今後の意向の把握
　　　　　②何があれば住まいや暮らしの満足度が高いのか、高まるのかを把握
調査対象：18 歳以上の市民：3,000 人（無作為抽出）
調査方法：【配布】郵送　【回収】郵送または web（調査期間：11/21（月）～12/11（日）（約 3 週間））
回収状況：1,130 票／3,000 票（回収率 37.7％）　※郵送 860 票、web270 票

①回答者属性

●「**子育て世帯**」２割弱、「**高齢者（65 歳以上）**」４割弱です。

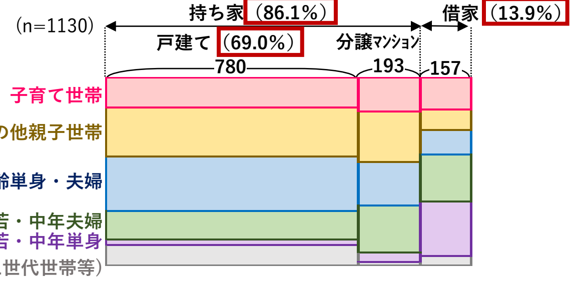
【回答者属性】

		合計	割合	備考
親＋子	**子育て世帯**	182	**16.1%**	子が18歳未満の親＋子
	その他の親子世帯	273	24.2%	子が18歳以上の親＋子
単身・夫婦	高齢単身・夫婦	293	25.9%	回答者65歳以上の単身・夫婦
	若中年夫婦	205	18.1%	回答者18～64歳の夫婦
	若中年単身	75	6.6%	回答者18～64歳の単身
その他（三世代同居等）		102	9.0%	3 世代同居、その他
合計		1130	100.0%	
（再掲）高齢者		416	**36.8%**	

②現在の住まい

●**持家戸建てが約７割**で分譲マンションと合わせて**持家率は９割弱**です。**借家等が１割強**です。

【住まいの種類×回答者属性】



③住み替え実態

●**10 年以内の異動者（市内転居＋市外転入）のうち市外転入**（大津市、栗東市など）**が６割**です。
●「**子育て世帯**」は**７割強が異動者**で、**通勤や通学しやすい交通環境**を重視して住まいを選んでいます。

【子育て世帯が住まいを選ぶにあたって重視したこと】
（３つまで回答可）
上位３項目
(n=132)

通勤や通学しやすい交通環境がある	**47.7%**
十分な広さの住宅がある	29.5%
お手頃な値段で借りる･買うことができる住宅がある	28.8%

【回答者属性別　10 年以内異動者の状況】

現在の住まい／従前の住まい		現在持ち家 市内から	現在持ち家 市外から	現在借家 市内から	現在借家 市外から	異動者計※	回答者	異動者割合
親＋子	**子育て世帯**	**44**	**50**	**7**	**13**	**132**	**182**	**72.5%**
	その他親子世帯	23	12	5	4	48	273	**17.6%**
単身・夫婦	高齢単身・夫婦	9	16	3	3	34	293	**11.6%**
	若・中年夫婦	20	29	7	24	87	205	**42.4%**
	若・中年単身	2	3	7	25	45	75	**60.0%**
その他（三世代同居等）		3	11	1	3	22	102	**21.6%**
【再掲】高齢者		13	23	4	3	49	416	**11.8%**
合計		101	121	30	72	368	1130	**32.6%**
（市外転入率）			**55%**		**71%**	**60%**		

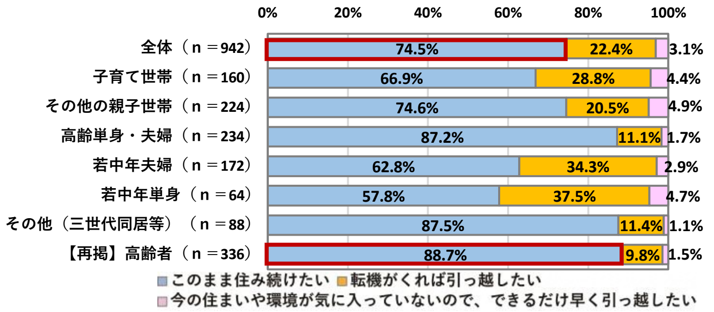
※異動者計には現在の住まいの持家・借家の別「不明」を含む

④今後の意向（住み替え・リフォーム）

定住意向

●**定住意向は７割強**で、「**高齢者**」**で高い傾向**です。
●「転機がくれば引っ越したい」は２割強で、「**自分や配偶者の高齢化**」「**就職・転動など仕事の都合**」のライフステージの変化や「**いい住宅が見つかったら**」の割合が高くなっています。

【回答者属性別　現在の住まいへの定住意向】



※「わからない」「無回答」は除く

【どのような「転機」に引っ越すか】
上位３項目
(n=211)

自分や配偶者の高齢化	14.2%
就職・転動など仕事の都合	13.3%
いい住宅が見つかったら	13.3%

リフォーム意向

●「**エコな暮らし**」「**安全性の向上**」「**温湿度や換気の調整**」を目的としたリフォームの関心度が高くなっています。
●「**健康増進や病気予防**」は**備わっている割合は低いが関心度は高く（≒潜在需要が高く）**なっています。

【リフォームへの関心度】　(n=1130)

	関心がある割合	すでに備わっている割合
エコな暮らしをするためのリフォーム	**34.0%**	18.1%
温湿度や換気を調整しやすくするためのリフォーム	**32.6%**	19.9%
健康増進や病気予防のためのリフォーム	**32.4%**	**11.2%**
バリアフリーにするためのリフォーム	28.3%	20.4%
子育てしやすくするためのリフォーム	16.8%	19.8%
在宅での勤務や授業に対応するためのリフォーム	21.1%	7.9%
ライフステージの変化に伴うリフォーム	22.8%	6.7%
安全性を高めるためのリフォーム	**32.7%**	17.7%
見た目を良くするためのリフォーム	29.3%	13.9%

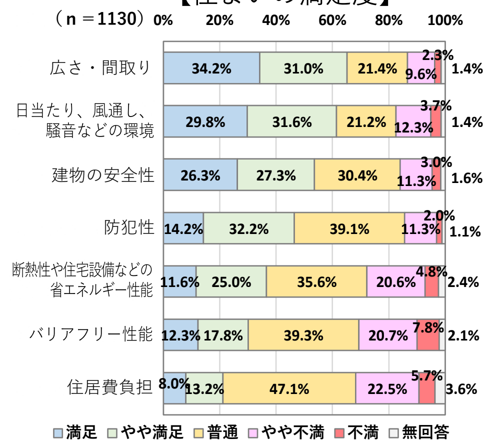
凡例　各項目ごとに割合の高い順に色分け
■１～３位（上位３項目）■４～６位■７～９位（下位３項目）

⑤満足度

住まいの満足度

●「**広さ・間取り**」は高く、「**住居費負担**」「**バリアフリー性能**」「**省エネ性能**」は低くなっています。

【住まいの満足度】



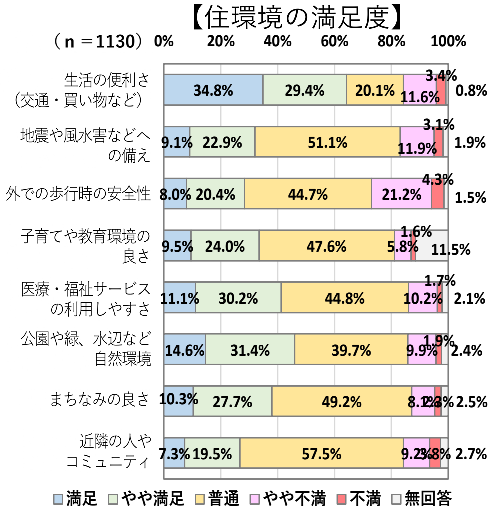
平均点※	満足の決め手（上位２項目）	不満の決め手（上位２項目）※カッコ内は回答件数
3.9	間取りや動線の使い勝手（362） 住宅面積（359）	住宅面積（79） 収納の数、面積（61）
3.7	日当たり（502） 風通し・換気（360）	日当たり（108） 周辺施設の騒音・振動（56）
3.6	建物の耐震性（344） 台風に対する強さ（169）	建物の老化・老朽化（101） 建物の耐震性（95）
3.5	周辺地域の治安（243） 窓や玄関の防犯設備（234）	窓や玄関の防犯設備（68） 街灯の数（67）
3.2	室内の温度（227） 気密性（171）	室内の温度（136） 室内の湿度、結露（135）
3.1	室内の段差（211） トイレ・浴槽の使いやすさ（121）	室内の段差（169） 室内の階段の上り下り（123）
3.0	光熱水費（89） 家賃や毎月のローンの支払（76）	光熱水費（175） 住宅の修繕費（130）

※満足度の５段階評価を点数化した平均点
満足　　：５点
やや満足：４点
普通　　：３点
やや不満：２点
不満　　：１点

住環境の満足度

●「**生活の便利さ**」は高く、「**外での歩行時の安全性**（交通量など）」「**地震・風水害への備え**」「**近隣の人やコミュニティ**（助け合える地域の連帯感など）」は低くなっています。

【住環境の満足度】



平均点※	満足の決め手（上位２項目）	不満の決め手（上位２項目）※カッコ内は回答件数
3.8	スーパーやコンビニまでの距離（578） 鉄道駅への距離（435）	スーパーやコンビニまでの距離（100） 鉄道駅への距離（99）
3.2	避難場所・避難路のわかりやすさ（191） 周辺建物の密集度合い（101）	避難生活への備え（101） 避難場所・避難路のわかりやすさ（35）
3.1	歩行空間の整備（162） 交通量（126）	交通量（145） 歩行空間の整備（138）
3.4	学区（148） 安全に遊べる公園や広場（142）	安全に遊べる公園や広場（32） 両立のための施設・サービス（26）
3.4	病院の数・立地（374） 介護福祉施設の数・立地（84）	病院の数・立地（68） 医療・福祉情報のわかりやすさ（49）
3.5	公園・緑地までの距離（335） 大きな緑地（225）	公園・緑地までの距離（74） 公園や緑地の快適さ（46）
3.4	緑や水辺、山並み（173） 駅前の賑わい（159）	電柱の数（49） その他（25）
3.2	町内会や老人会・子ども会の活動（142） 困ったときに助け合える地域の連帯感（108）	困ったときに助け合える地域の連帯感（56） 町内会や老人会・子ども会の活動（49）

将来的な不安

●「**住宅の老朽化**」「**災害時の安全性**」「**住宅の維持管理の労力**」「**高齢となった時に望む住まいへの住み替え**」が高いです。

【住まいに関する将来的な不安（複数回答）】上位４項目

住宅そのものや設備などが古くなり、このまま住み続けられるか	**31.4%**
地震・風水害などの**災害時の安全性**	**29.4%**
住宅を**維持管理、清掃などする労力**が続くか	**27.8%**
高齢となった時に望む住まいに住み替えられるか	**20.9%**

⑥草津市の魅力

●「**便利な鉄道沿線**」が６割強と突出して高くなっています。次いで高いのが「**資産性**」です。
●その他「**治安**」「**身近な自然**」「**市民の憩いの場・多様な活動の場**」などの**住環境の魅力**も上位です。

【周辺市と比べた草津市の住まいやまちの魅力（３つまで回答可）】(n=1130)

上位５項目	
大阪・京都や名古屋に行きやすい**便利な鉄道沿線**がある	**63.1%**
街としての価値が高く、**将来も資産性**がある	31.7%
治安が良く、安心して暮らせる場所である	27.8%
緑地や湖などの**自然が身近**にあり、気持ちよく散策できる	23.5%
草津川跡地公園を中心に**市民の憩いの場や多様な活動の場**となる空間が整備・運営されている	19.4%

下位５項目	
在宅での介護医療環境が充実している	3.2%
市民が健康で元気に暮らし続けられるための健康づくりや運動・食育などの健幸まちづくりに力を入れている	5.3%
充実した保育園や医療費助成など、子育て支援が充実している	7.6%
タブレット PC や電子黒板を使った ICT 教育に力を入れているなど教育環境が充実している	8.0%
町内会などの**コミュニティ**がしっかりしている	8.0%

まとめ

●通勤や通学しやすい交通環境の良さなどから**子育て世帯の市外転入割合が高い**ことが特徴です。
●高齢者の**定住意向は高い**一方、**望む住まいへの住み替えに対する不安**も見られています。
●**バリアフリーや省エネ**などの住宅性能の満足度が低い中で、エコな暮らしや健康増進のための**リフォームなどによる改修意欲**が見られます。
●建物の安全性への満足度は低くないものの、将来的な不安としては**住宅の老朽化や災害時の安全性**などが多く挙げられています。
●町内会などの**コミュニティの満足度は低く、魅力と感じている市民もわずか**です。
●利便性や経済性（資産価値）のほか、**身近な自然や多様な活動の場の魅力**が評価されています。